

2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	社会環境学科	履修者数	2,054
------	--------	------	-------

回答者数	711
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	211 29.7	321 45.1	138 19.4	41 5.8	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.47	387 54.4	286 40.2	29 4.1	4 0.6	5 0.7	711	0
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.41	377 53.2	268 37.8	46 6.5	11 1.6	7 1.0	709	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	3.86	212 29.9	267 37.7	162 22.8	54 7.6	14 2.0	709	2

▼学部レベルの質問項目

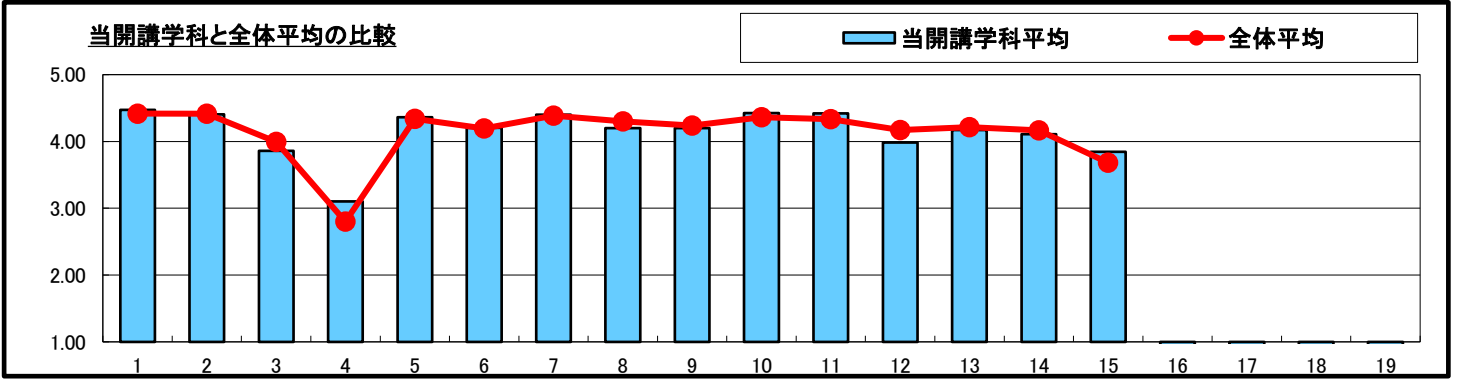
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.10	2時間以上 97 13.6	1時間以上 2時間未満 177 24.9	30分以上 1時間未満 219 30.8	30分未満 138 19.4	全くして いない 80 11.3	711	0
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.36	341 48.0	299 42.1	60 8.5	7 1.0	3 0.4	710	1
6	この科目の難易度は適切であった	4.21	291 41.0	307 43.2	87 12.3	17 2.4	8 1.1	710	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.40	373 52.5	272 38.3	50 7.0	7 1.0	8 1.1	710	1
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.20	299 42.1	291 40.9	94 13.2	18 2.5	9 1.3	711	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.20	330 46.7	241 34.1	94 13.3	29 4.1	12 1.7	706	5

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.42	387 54.5	263 37.0	39 5.5	15 2.1	6 0.8	710	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.42	386 54.3	262 36.8	43 6.0	15 2.1	5 0.7	711	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	3.98	290 40.9	215 30.3	125 17.6	60 8.5	19 2.7	709	2
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.17	314 44.2	259 36.5	90 12.7	38 5.4	9 1.3	710	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.11	305 43.0	234 33.0	125 17.6	34 4.8	12 1.7	710	1
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.84	十分に 読んだ 212 29.9	よく読んだ 285 40.2	どちらとも いえない 121 17.1	ほとんど 読まなかった 71 10.0	全く読んで いない 20 2.8	709	2

▼学科設問

16		-	0	0	0	0	0	0	711
17		-	0	0	0	0	0	0	711
18		-	0	0	0	0	0	0	711
19		-	0	0	0	0	0	0	711



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	社会環境学科
講評者	社会環境学科長 河本尋子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境およびクラスサイズ・グループサイズについては、9 割以上の回答が良好または適切という結果でした。しかし、周りの学生の熱意については全体平均を下回っており、授業に熱心に参加している学生が少ないと捉えられていました。これらの結果はいずれも、前期の回答傾向に合致するものです。特に、学生の熱意に関し、2 年次よりコース別の専門を高める一方で、所属コースの科目以外も多く受講する必要があり、影響した可能性は考えられます。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	シラバス内容や難易度、学部・学科の学びに関する質問項目では、いずれも大学の全体平均と同様の回答結果となり、授業時間外学修では全体平均を上回りました。他方、キャリア形成に関連する回答は全体平均よりも低く、学際的な学部の特色から、単位取得に多くの時間外学修を必要としながら、キャリア形成の具体的イメージに直結させにくい側面が読み取れます。今後も、演習等を通して本学部におけるキャリア形成イメージの共有を継続し、改善につなげたいと考えます。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問群のうち、特に、学生の授業参加（学生に質問や意見を求める、発表機会を設けるなど）を促す項目については、大学の全体平均と比較すると、改善の余地があります。受講者数や講義の特徴を踏まえながら、それぞれに適合する参加促進方法の試行が求められます。教員間の授業参観等の機会を活用し、学生の参加促進に向けた情報共有をおこなっていきたいと考えます。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	該当なし